

■原著者紹介

サラ・バンクス (Sarah Banks)

英国エジンバラ大学大学院修了。PhD. コミュニティワーカー等を経て、現在、
ダラム大学大学院応用社会科学研究学類コミュニティワーク&ユースワーク専攻
教授。同大学「社会正義とコミュニティアクションのための研究センター」共同
代表。国際雑誌 *Ethics and Social Welfare* (Routledge) の主任編集者。

[主要業績]

Ethics and Values in Social Work, Palgrave, 2012 (本訳書)

Politics, power and community development, Policy, 2016 (共編) など

■監訳者紹介

石倉康次 (いしくら・やすじ)

立命館大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学。現在、立命館大学産業社会学部教授。総合社会福祉研究所理事長。

〔主要業績〕

『形成期の痴呆老人ケア』（北大路書房，1999年／編著）

『転換期の社会福祉事業と経営』（かもがわ出版，2002年／共編著）

兄島亜紀子 (こじま・あきこ)

東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。博士（社会福祉学）。現在、大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類教授。

〔主要業績〕

『援助するということ』（有斐閣，2002年／共著）

『社会福祉実践における主体性を尊重した対等な関わりは可能か』（ミネルヴェア書房，2015年／編著）

伊藤文人 (いとう・ふみひと)

英国サセックス大学大学院人文科学研究科修士課程修了。日本福祉大学大学院社会学研究科博士後期課程満期退学。現在、日本福祉大学社会学部准教授。国際雑誌 *Critical and Radical Social Work (Policy)* 編集委員。

〔主要業績〕

『現代社会と福祉』（東山書房，2015年／共編著）

‘Social work ethics and social justice: the growing gap’ in Sarah Banks (2014), *Ethics, Policy Press*

■訳者

庄 巧郎

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程在籍（序章）

北垣智基

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程在籍（第1章，第2章）

黒川奈緒

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程在籍（第3章，第4章）

荒川亜樹

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程退学。博士（社会学）
（第5章，第6章）

池田さおり

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程退学。博士（社会学）
（第7章）